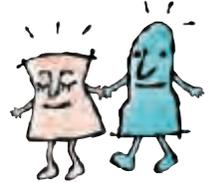


# THE ライフスポーツ RIFLE SPORTS

2022

4

第455号



- ISSF Junior WC ズール大会報告
- ISSF ワールドカップ バクー大会報告
- ビームライフル・ビームピストルスポーツ射撃体験会
- 2021年度会長表彰／2021年事業報告



スポーツクジ

toto  
FOR ALL SPORTS OF JAPAN

BIG



# ライフルスポーツ

## 巻頭言

常務理事・コンプライアンス委員会委員長 小風 明

去る6月18日に開催された社員総会で、日本ライフル射撃協会倫理規程の改定が決議されました。そのポイントは、「会員等の責務、私的利益追求の禁止、遵守事項の明確化」と「処分種別、手続等の規定制定の理事会への委任」です。社員総会決議による規程を前者に特化することにより、ライフル射撃スポーツ及び本協会に対する社会的信頼確保のための倫理保持に関する指針がより明確にされたものと思います。

特に重要なのは、第3条で会員等の責務として、「広く公益の増進に寄与すべき責務を有する者であることの認識」「社会からの期待に相応しい責任ある行動義務」を明確にしたことです。

Black's Law Dictionary は、compliance の意義について、submission、obedience とともに conformance を挙げています。わが国では、コンプライアンスとは、企業などが法律や条例だけでなく、社会的規範や企業倫理、社内規定などの幅広い規則を守るという意味で使われています。しかし、最近では、法令や社会的規範などの遵守にとどまらず、「社会の要請に応える」という捉え方が有力となってきています。

経済界では、株主至上主義の経営を見直し、様々なステークホルダー（関係者）に配慮した経営が求められてきています。本協会も、公益社団法人として社会の要請に応え、社会的責任を果たすことが不可欠となっています。



## 今月の表紙

2022年5月26日から6月5日まで、アゼルバイジャン共和国バクー市で開催されたワールドカップバクー大会出場選手・コーチ・スタッフ 総勢20名。2022年新ジャージにて（バクー射撃場前にて）

## 目次

ISSF Junior WC スール大会報告	2
ISSF ワールドカップ バクー大会報告	4
令和3年度全日本ライフル射撃競技選手権大会 (10mAR・AP)	6
チーバ君の大口徑大会レポート	9
スポーツ射撃体験会を振り返って	12
2021年度会長表彰	14
2022年度事業計画	15
2021年度事業報告書	16

# ISSF Junior WC ズール大会報告

2022年5月9日～20日まで、ドイツ・ズールにてISSF Junior WCが開催され50カ国、延べ約500人以上の選手がエントリー、日本からはAR4名/AP4名の選手が派遣されました。MIX戦など決勝では新ルールで行われ、期間中に多くの種目を実施する為、PETと本選を同日に行うなど、選手及び運営側両方に負担の掛かるスケジュールだったと感じました。

ファイナルステージで照準の軌道を可視化するために、スキャットを取り付けて行うなど、新たな試みがなされ、Technical Meetingをはじめ、未来のオリンピックであるジュニア選手たちに早い段階からルールを正しく理解して順守してもらうために、銃器安全面やテレビ放映を意識した歩き方において、Juryから選手に厳しく注意する場面がありました。

キム・ウヨンコーチを通じて、女子Team戦で優勝した韓国チームのライフル女子選手と交流を深めるなど、選手達の射撃に対するモチベーションを更に高めるきっかけにもなり、今後の射撃につながる収穫多き遠征となりました。

今大会では初めて海外試合に参加するジュニア選手も多く、またコロナ下というイレギュラーな環境での遠征となりました。出入国時でのPCR検査や事前準備など、非常に高リスクの中で、選手コーチスタッフが一体となった協力があったからこそ無事に帰国することができました。本遠征に携われた選手とコーチをはじめ、事前事後サポートいただきました日本ライフル射撃協会、その他関係者の皆様にこの場をお借りして御礼申し上げます。

選手強化委員 劉 炫慈

## 【成績報告】敬称略

### 10mエアライフル

男子は橋本昂希（法政大学）が個人戦では620.0点で20位と悔しさを滲ませながらも次につながる射撃となった。女子は個人戦に3名の選手が出場したが、残念ながら決勝進出に至らなかった。



三浦選手



山田選手 AR女子

山田咲来（JOC エリートアカデミー／成立学園高校）620.9 42位、三浦莉桜（明治大学）620.6 45位、野畑美咲（明治大学）618.1 56位。MIX 戦では、野畑・橋本ペアが出場し合計得点620.0と22位となった。女子 Team 戦では、野畑・三浦・山田の3名が出場し12位と決勝進出ならず。

### 10mエアピストル

男子は岩佐正貴（自衛隊体育学校）と吉村和徳（同志社大学）の2名が出場。岩佐が本選得点579点を記録し、自身の持つジュニア日本記録を更新し、全体順位第2位で決勝進出を果たし、決勝では第7位に入賞と大健闘した。吉村も緊張した射撃をしたとのことだが、570点を記録し惜しくも決勝進出を逃した。女子は阿部花論（土佐女子高校）が566点17位、西田葵（JOC エリートアカデミー／成立学園高校）521点で58位であった。MIX 戦では阿部が280点、岩佐が285点、合計565点を記録し、センター数差で7位となり、惜しくも決勝進出まであとわずかであった。



AP ミックスチーム

### 【入賞選手のコメント】

#### 岩佐正貴（AP 男子）

「初めての海外で日本を出る前から緊張していました。コミュニケーションが苦手なジュニアメンバーと仲良くできるかなと心配でしたが皆さん優しく接して下さってすぐに打ち解けました。助け合ったり笑ったりして凄く楽しい思い出になりました。ジュニアメンバーの皆さんありがとう御座いました。応援して下さいました。」



岩佐選手



チーム

# ISSF ワールドカップ バクー大会報告

5月25日～6月6日まで、アゼルバイジャン共和国 バクー市で開催されたワールドカップへ遠征してきました。本年2度目のワールドカップ遠征。選手14名とコーチ・スタッフ6名の計20名で臨みました。アゼルバイジャンはあまり聞き覚えのない国かもしれま



25m 女子 TEAM 終了後



ARM TEAM



ウーヨンコーチと



エミールコーチと財津選手

せんが、カスピ海に面した国で「女性が一人で夜ランニングしても大丈夫な国」と安全な国といわれておりました。今大会も外務省経由にて現地日本国大使館と連絡を取りながら安全を最優先に行っております。到着した翌日には、和田特命全権大使に射撃場まで御訪問頂き、射撃場の見学と選手への激励を頂きました。到着時にはアゼルバイジャン射撃協会の会長も一緒に出迎えられました。のちにアゼルバイジャン射撃協会の複数の方から大使が訪問されたことへの謝意を伝えられました。それほど大使の射撃場への訪問は現地協会としてもトピックスであったのだと思われます。

大会参加国66か国、参加人数700名となりました。今回の大会で、さらにトピックスであったのはウクライナの選手団が参加していたことでした。ライフルでもピストルでも多くの選手が個人・TEAMで上位に名を連ねており、非常に強い国です。前回のカイロ大会に比べ、韓国などの上位国も参加しており、一段とレベルの上がった大会となりました。

気候は砂漠ということもあり、雨も降らず、気温も当初は25度くらいまででした。終り頃になると30度以上になり、外にいると太陽の熱が痛いほどでした。風も非常に難しい左右に吹く状況でした。

衛生状況もよい国でしたので、選手の体調も問題なく臨むことができました。

テクニカルミーティングでは、ATLの時間で議論があり、結果開始時間20分前（5分間の準備時間）から30分前（15分間の準備時間）へ2日目から変更となりました。ファイナルルールも前回のWCリオで修正されたものとなり、このルールが2024年までの最終ルールと明言されていました。準備時

間に関しては、今後のルールへの影響を見極めなければならぬと考えています。

### ライフル50m

平田しおり選手が日本記録588点にて2位で決勝進出！ ファイナル5位になりました。

本選は風への対応も素晴らしく、非常に丁寧な射撃であったのが印象的でした。

男子は TEAM で遠藤雅也選手・島田敦選手・清水彰人選手が8位入賞。

### ライフル10m

ファイナル進出が、男子が628.6点に対し女子が629.9点と高かった。男子は中国やロシアの選手の出場がなかったとはいえ、少し衝撃でした。平田しおり選手が628.9点で13位。野畑美咲選手・清水綾乃選手は、共に626.4点でしたが内容としては良い射撃でした。

### ピストル25m

今回 RFP は2名が参加。複数名いることでのチームとしての動きが良かった。吉岡大選手577点(25位)、森栄太選手576点(26位)。次回 WC は3名予定であるので、さらなるチーム力を期待しています。女子 SP は今回4名での参加。財津美加選手は初 WC であった。結果としては569点ではあったが、内容は世界で戦えるものであった。今後に期待。

25m 女子 TEAM は日本として強い種目。今回は5位であったが次回はさらなるチーム力を発揮してくれると期待している。

### ピストル10m

小西ゆかり選手が3シリーズ満射で追い上げを見せたが、ファイナル5点足らずの573点であった。TEAM は小西ゆかり選手・山田聡子選手・佐々木千鶴選手が奮闘するも9位で惜しくも敗退した。

選手強化委員長 佐橋朋木



ゴランコーチとウーヨンコーチ



ゴランコーチと平田選手



平田しおり選手ファイナル



和田大使とアゼルバイジャン射撃協会会長



和田大使と選手団

## 令和3年度全日本ライフル射撃競技選手権大会（10mAR・AP）

by 宮城県石巻市 NEX ライフル射撃場

今年の大会はコロナ過の中で3月の大会が4月に延期になり、その大会も危ぶまれたのですが日ラからの要望もあり、開催するに至りました。まだ宮城県でも毎日、500人から700人近くの罹患者が発生している中なので、もしこの大会でクラスターが発生したら、主催者としてはどの様に責任を取らなければならないのだろうと、開催前から危惧しておりましたが、いざ、蓋を開けてみると、選手の皆さんも心得たもので、練習や試合が終わるとサツと帰ってくれるので射場の中は、密にならずにパラパラの状態、特に今年のジュリー団は平均年齢70歳越えの東北のレジェンド軍団なので、一応、心配はしていましたが、皆さん、未だにピンピンしているようで安心しています、そのような心配事を忘れさせてくれるような、桜の花が散る、うららかな春の陽光の中、静かに大会が始まりました。



左から横山、岩佐、園田、各氏

1日目はAP60が2射群とファイナル、AP60Wが1射群とファイナルのハードスケジュールで、AP60ファイナルには自衛隊体育学校の選手が4人残り、その中で岩佐正貴選手（自衛隊体育学校）がファイナル得点239.1で優勝、2位には園田吉伸選手（自衛隊体育学校）がファイナル得点237.5で金、銀メダルを獲得、3位には横山博登選手（静岡県警）がファイナル得点215.6で銅メダルを獲得いたしました、続くAP60Wには東京オリンピックに出場した山田聡子選手と佐々木千鶴選手がファイナルに選出され、地元宮城県の安孫子 薫選手も本選7位で通過、しかもファイナルは初めてのことに聞き、本番前



左から、小西、山田、佐藤、各氏

に簡単にルールを説明しましたが、一抹の不安が頭をよぎりました。これまでの全日のタイトルがついた石巻で行われた大会でファイナル・ルールを知らない人はほとんどいなかったため、ミスをしないうえにと祈りつついざ、本番に突入、結果は金銀メダル争いは新旧オリンピック選手の対決となり山田聡子選手（自衛隊体育学校）がファイナル得点243.9で金メダルを獲得、2位には元オリンピック選手の小西ゆかり選手（飛鳥交通株式会社）がファイナル得点231.7で銀メダルを獲得、続く3位には佐藤明子選手（警視庁）がファイナル得点210.6で銅メダルを獲得しました。これで今日の競技は大きなトラブルもなくすべて終わりホッとしたのもつかの間、明日への準備に大忙し、ここで補助員の高校生達が大活躍、ほどなくして準備も整い表彰式も終えて外に出てみると、まだ明るい、これが3月の大会ならすでに真っ暗になっていたはず、予定していた時間よりかなり早く終わったため、予約していた食事時間に余裕で間に合い、お店に迷惑をかけずに済んだなと胸をなでおろしました、明日からは一日一種目なのでホテルに帰ってからの時間に余裕ができ、のんびりと過ごせそう、今日は長い一日だったな、などと思いながら就寝。翌朝、ホテルでの朝食も早々にラッシュの始まった道を会場へ直行、すると何人かの選手がすでに待っていたではないですか、朝早くからご苦労様です、早速、受付や用具検査の準備が慌ただしく始まり、2日目の幕が開けました。今日はAR602射群とファイナルだけなので、まだ開始時間までには余裕があったのでトラジャコーヒーを入れて飲みながら待つことに、やがて本選2射群を終えファイナルへ、ここでファイナル出場者の事前のフォローアップの作業がありますが電的には1発ごとの平均点が出るようになっていて、基準点を決めてそれ以上の方を選んでおけばフォローアップ対象者から漏れることはないということを知りビックリ、以前の大会ではファイナリストがフォローアップから漏れるという事がよくありましたが、今回の大会ではその様なことはありませんでした。さて、AR60ファイナルには東京オリンピックに参加した岡田直也選手と松本崇志選手が選出されましたが、共にメダル圏には届きませんでした、ですが、流石にファイナリスト、実力伯仲で0.1～0.2の僅差で勝負が進み最終的に勝利の女神がほほ笑んだのは、AR60日本記録保持者の遠藤



左から花川、遠藤、岩崎、各氏

雅也選手（名阪急送株式会社）がファイナル得点247.8で金メダルを獲得、2位には花川直樹選手（自衛隊体育学校）がファイナル得点247.0で銀メダルを獲得、3位には岩崎貴文選手（公益財団法人滋賀県スポーツ協会）がファイナル得点225.4で銅メダルを獲得、これで今日の競技は終了、電的もトラブルが無く終わることができ、安心しました。表彰

式が始まるまでの間、今日の問題点について反省、明日への準備も終わりホテルへの帰路につきました。夕方今回の最後の晚餐になるホテル近くのイタリアンレストランへ、定番のピッツァやパスタ以外にも多数の料理が出て結構おなか一杯になりました、ただ残念だったのは美味しいワインがなかったこと、せめてバローロやバルバレスコなどのワインを置いて欲しかったね、まして初日に飲んだシャブリ・プルミエクリュ・フルショームが味、香りとも素晴らしかったので余計その様に思ってしまった、今後予約を取るときの良い勉強になりました。明日は最終日、このままコロナの罹患者がでないで欲しいなと願いながら眠りについたら、明け方に強い雨の音で目が覚めた、ア～アきょうは雨降りかとかっかりしてたらいつの間にか雨が上がり、太陽が顔を出しているではないですか、まるで今大会を祝福してくれる様な3日間の晴天に何処かにいる晴おとこ&晴おんなに感謝、そんな冗談めかしたことを考えながら会場についてみれば、今朝もすでに待機している選手達が、本当に朝早くからご苦労様です。忙しく動き回ってるほかの役員さんを尻目に、何時ものルーティーンであるモーニングコーヒーを今日はキリマンジャロを使用して、遅れてくる役員達を待つことに、ほどなくしてAR60Wの本選が開始され、観客が少ないせいか、選手たちの緊張感が伝わってくる様な感じ、本選2回を終えてファイナリストには又、2名の東京オリンピック出場者が、本選1位で平田しおり選手、同じく本選2位で中口 遥選手が選出され、AR60Wのファイナルも実力伯仲で、わずかの僅差でしのぎを削る試合となり、最後に勝利の栄冠を手にしたのは、平田しお



右から、鈴木、平田、新里、各氏

り選出 (ALSOK) がファイナル得点248.4で本選からの首位を譲らず見事金メダルを獲得、2位には新里葉津紀選手 (鹿児島県ライフル協会) がファイナル得点247.6で銀メダルを獲得、3位には鈴木志佳選手 (自衛隊体育学校) がファイナル得点227.1で銅メダルを獲得、これを持ちましてすべての競技を終了することができました。事故や大きなトラブルも無く、無事終えることが出来、これも選手、役員協力の賜物と思います。又、補助員として活躍されてきた、育英学園、東北生活文化大学高校、東北工業大学、の射撃部の部員、先生方、および近県より参加された役員の皆様に厚く御礼申し上げます。

宮城県ライフル射撃協会 北郷雅志

# チーバ君の大口徑大会レポート

猛暑の季節から新緑の季節に時期を変え、全日本大口徑を開催しました。コロナで2年中止だったが「いつもの男たち」と「新しい男」が長瀨にきてくれました。今回はその男たちに大口徑の魅力など聞いてみました。

## 磯部直樹選手

SBで国際大会出場、国体優勝の経験者、全日本大口徑に Grunig + Elmiger FT300 で初参加し優勝

世界の第一線で活躍する海外の友人から、大口徑から学び、SBにおける考えが変わったと聞き、私も大口徑から学びたいと思いはじめました。

大口徑を撃つことで、今までの自身の未熟さを痛感し、小手先の技術で誤魔化していることが丸裸にされ射撃の基本を学ぶことができました。

また、国内のレジェンドの方々から射撃を教わる事もでき、自身を成長させてくれます。オフシーズンや定期的に撃つことで原点に戻ることができるので、皆さん本気で検討してください。

海外では特別なことではなく普通の事なんですよ！

## 池袋賢一選手

大口徑伏射と言えばこの人「常勝池袋」  
Kelbly Stolle Panda、(6mmPPC)を所持  
射撃ほど一生の友とできるスポーツはあり



ません。

AR から大口径、立射から伏射、三姿勢まで共通するのは「銃で撃つ」という点だけで、内容は月とスッポンほど違います。

身体機能、精神力を要求される立射や三姿勢に対して、伏射では銃器・装弾に対する科学的探究心を深く要求され、特に大口径の伏射は精神力と科学する心で取り組む競技です。

SB は銃も装弾も市販品を使うほかない、大口径は口径も 308、6mmBR、6mmPPC、など多彩で、成績が科学的探究心に左右され、創意工夫できるところがとても興味深い。

大口径が五輪・WC からなくなり、SB 伏射までなくなった、国内では日ラのご理解により全日本大口径選手権大会が実施されています。

多くの会員諸氏が大口径射撃に親しまれ、この大会が末永く続きますことを期待します。

## 榊原嘉仁選手

本邦における長距離射撃の第一人者、英国ライフル協会元会長などと親交があるアンシュッツ（国内用）、RPA クアッドロック（海外用）を所持

世界を見渡せば半自動銃を使い 200 ～ 600ヤードを撃つ競技や 300、500、600、800、900、1000ヤードを撃つ長距離競技があり、大きな大会では横に 1 km はある広大な射場で小学生から老人、男女問わず 2000人が競い、なかなかの壮観です。

銃の持つ極限の性能と、人間の知力と体力を競い、競技後のパーティで互いの健闘を称えあうのが長距離射撃です。

皆さんはその端っこ、尻尾を AR や SB でつかんでいます。あと一步の勇気で、銃と人間のドラマが観られるのです。一緒に撃ちませんか。



## 織田祐宏選手

福井国体、全日本大口径で優勝した実力者、グリュネル ST200を所持

「大口径射撃がしたい」それが射撃を始めたきっかけです。

射撃の質感や醍醐味が、AR や SB と比べて圧倒的に大きく、まさに「素晴らしい」の一言。AR や SB で身につけた技術がそのまま応用でき、大口径で身についた「反動処理」「サイティング精度」「フリンチング耐性」は AR や SB にも活用できる。

「小口径は大口径の練習、大口径は小口径の練習」だと思って撃っている。小は大を兼ね、また大は小を助けるのである。

射撃をしていて、大口径を撃たないのは、ラーメンを頼んだのに、具だけ食べて麺を食べないのと同じくらい「もったいない」ことです。

皆さん、一緒に大口径を楽しみましょう！

## 大門省吾選手

真駒内、滝沢村時代から全日本大口径に参加、SB では国際大会出場経験者

シーレンフリー、レミントン M700を所持

多くの方に大口径へチャレンジしてもらいたいです。

大口径は、姿勢の基本が重要です、その技術は50m競技にも活かれます。

過去に台風直撃の大口径大会で2種目優勝したことがあります。今思えば基本ができていたから勝てたのかな。

皆さん、海外のトップ選手は、AR・SBの他に大口径も撃っています。

五輪を目指すならば大口径で基本を身に付ける必要があります。

かつては五輪種目の大口径、最近所持者が減っている。この記事のとおり射撃の基本を習得でき、自身を成長させてくれる。AR・SBを楽しんでいる諸君も大口径射撃を楽しみませんか。最後に御支援を頂いた、自衛隊体育学校と日本学生スポーツ射撃連盟の皆様にお礼申し上げます。

射撃のチーバ君より

# スポーツ射撃体験会を振り返って

普及生涯スポーツ委員会 普及事業部会長 粟生 由紀

普及生涯スポーツ委員会・普及事業部会の事業の1つとして、6月26日（日）に「ビームライフル・ビームピストルスポーツ射撃体験会」を開催しました。場所は、日ラ事務局のあるジャパン・スポーツ・オリンピック・スクエアの14階会議室を終日貸し切り、10時から16時まで、50分枠を6回転分実施しました。当日は合計92名の体験者・同伴者の皆様にご来場いただきました。



体験会会場

私自身、過去に1回しか射撃体験会を見たことがなかったため、開催するにあたってのプロセスやワークロード等、イメージが掴めるまで少し時間がかかりましたが、松丸会長や事務局を始め、ご協力いただいた皆様のおかげで何とか無事に終了することができました。

昨年の東京オリンピック・パラリンピックで、射撃競技は老若男女・身体的障がいの有無を問わず同じ土俵でチャレンジできる魅力あるスポーツということが、少しずつ知られるようになったのではないかと思います。その希少なスポーツをオリパラ熱で終わらせることなく次の世代へ繋げていくために、まずは体験会を通してより多くの方々に知っていただくというのが、部会の最初の目標でした。

## 対象者の設定

誰でも楽しめるスポーツ射撃ということで、体験会に来ていただく対象は小学生以上であればどなたでも参加可能に、また、1射座あたり同伴の方を3名までとし（家族やご友人で参加されることを想定）、同伴の方も希望に応じて体験可能としました。

全部で10射座（ビームライフル4射座・ビームピストル6射座）を用意しましたが、何かあった時のために予備的として2射座を抑えておき、申込の対象は各回8射座分としました。当日、急遽調整が入ったりしたので、結果的にこれは良い判断だったと思います。

少し難しかったのは、障がい者の方の申込を受けるときに、どこまで障がいの情報を提示していただくか、です。今回はあまり良い案が見つからず、備考欄に考慮すべき点があれば記載をお願いするのが精一杯でした。

## 各回転の時間枠

体験の時間は各回転50分としました。まったく体験したことがない方の場合、銃に触れて、狙いを定めて撃つという行為に慣れるまでそれなりに時間がかかること、慣れてから得点を出すことの楽しさを感じてもらえるのにも時間がかかること、しかし長すぎても人によっては飽きてしまう可能性もあるため、50分プラス入れ替え10分にしました。

実際は、各回転が始まる少し前までに皆さんにご来場いただき、スタッフが会場外で

事前説明をするなどして、会場内に入ったらなるべく速やかに体験開始に移れるようにしました。

### 役員配置

当日の役員は、体験会のスタッフ以外に、東京都ライフル射撃協会から5名の指導員を派遣していただき、射座にて体験者の指導・サポートをしていただきました。経験豊富な指導員の方々による丁寧な指導により、体験者の方々も射撃を大に楽しんでくださったようで、アンケートにも丁寧な指導に感謝の言葉が多くありました。

ただ、どの射座にどのような方が入るか（体験者の年代や障がいの有無の情報）が事前に十分に連携できなかったため、支障をきたしてしまったことや、小学生の体験者だとかかりきりになる可能性が高いことから、各射座に1人指導員を配置しないと回らないという反省もありました。これは今後の改善点として見直しをかける予定です。

今後は認定コーチの資格をお持ちの方々にもお手伝いいただき、指導の経験を積む場を提供できればと考えています。

また、今回はオリンピック（ピストル松田さん、ライフル山下さん）・パラリンピアン（ライフル佐々木さん）のアスリート3名にもご協力いただき、体験者の皆さんはアスリートの人たちから直接指導を受けたり、体験終了後には一緒に記念撮影を楽しんでいました。



オリンピックの山下敏和選手、松田知幸選手、  
パラリンピアン佐々木大輔選手



アスリートや指導者の指導を受けながら射撃を体験



河合JPC委員長と佐々木選手

### 告知

今回の体験会の情報は、新宿区の広報誌、日ラのウェブサイト、Facebook、Twitterでご案内しましたが、案内を出して5日後には全ての回転で予約が埋まって受付終了となり、スポーツ射撃への関心の高さを改めて認識しました。申込者も半分くらいは大人の方で、今までやってみたいかったが機会がなかったので開催されて嬉しいとの声もありました。対象者を小中学生に絞らず、広く誰でも申込できるようにしたのが良かったかなと思います。

初めての体験会の運営だったため、反省点や課題が多く見付き、体験会終了後に指導員の方々からも指摘やアドバイスを沢山いただきました。経験豊富な方々からのフィードバックをしっかりと改善策に落とし込み、次回以降の体験会をより良いものにしていきたいと思っています。どうもありがとうございました。

# 2021年度会長表彰

去る6月18日（土）JAPAN SPORT OLYMPIC SQUAREにおいて、2021年度第1回社員総会が開催され2021年度会長表彰が行われた。

2021年度表彰者（敬称略）

会長特別表彰	立川定（新潟県）
会長表彰	橋本一平（京都府）、小原顯彦（神奈川県）
年間活動賞	吉岡大（京都府警察）、山田聡子（自衛隊体育学校）
感謝状	清水寛（徳島県）、袴田登喜造（東京都）、溝部政司（東京都）、香西俊輔（東京都）



会長特別表彰の立川定さん（新潟県）。日ラ会員歴55年、県ラ会員、選手として活動。新潟県協会理事として50年近く協会運営に積極的に携わり、リーダーシップを発揮し協会発展に尽力。右は日ラ松丸会長。

# 2022年度事業計画

(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

## 1. 活動方針

本会は、スポーツ基本法の理念に則り、ライフル射撃競技の普及と振興を図るための諸事業を展開する。

日本ライフル射撃協会は、ライフル射撃界を統括し、代表する団体として、ライフル射撃スポーツの普及及び振興を図り、もって国民の心身の健康に寄与することを目的とする。使命を果たすため、三つの役割を果たす。第一にアスリートの育成として、ライフルスポーツを通して人間力のある若者を育成するとともに競技力の向上に努める。第二に競技の普及として、アスリートの活躍やライフルスポーツの魅力を発信して競技の普及を図る。第三に社会貢献として、ライフルスポーツを通して社会課題の解決に貢献する。

## 2. 事業（定款第4条第1項～6項）

### 1 ライフル射撃スポーツの普及及び指導

- ・共生スポーツであることを積極的に発信する。
- ・協会主催（新宿区後援予定）の体験射撃会を定期開催する。
- ・加盟団体主催の普及事業予算を拡大する。
- ・高校大学射撃部出身者がライフルスポーツを継続できるサポートを行う。
- ・高齢の会員の方々が生涯スポーツとして続けられる環境整備をする。
- ・女性会員がライフルスポーツを継続できるサポートを行う。

### 2 ライフル射撃スポーツの日本選手権大会及びその他の競技会の開催

- ・国民体育大会の運営、全日本選手権大会及び各種競技会を主催する。
- ・視覚障害、聴覚障害、知的障害のアスリートも参加できる競技会を開催する。
- ・全日本 AR/AP、全日本 BR/BP は SH1 のパラアスリートも参加、オリパラミックス種目を新設し、総合順位を参考として公表する。

### 3 ライフル射撃スポーツに関する競技力の向上を図ること

- ・アスリートを育成した指導者や所属先の指導者との連携を強化する。
- ・日本人コーチを育成する。
- ・ジュニアからシニアまでの一貫強化戦略を構築する。

### 4 ライフル射撃スポーツに関する指導者及び審判員の養成及び資格認定

- ・戦略に基づく NRAJ 認定コーチによるジュニアの発掘育成事業を実施する。
- ・小中学生全国大会を、都道府県又はブロック単位で予選を実施し中央に集合して本選を実施する方法にする。

### 5 ライフル射撃スポーツの普及・発展に資するための補完事業として事業運営上必要な物品の頒布

### 6 その他目的を達成するために必要な事業

多くの人々や、企業、団体から存在意義を認められ、支援や協力を得られるスポーツになる。自ら収入を得ることができる独自財源を確立し、経済的に自立するため、以下の活動を行う。

- ・ニチラ応援新宿区ふるさと納税寄付を推進する。
- ・スポンサーの獲得活動を推進する。
- ・マーケティングプロジェクトをビジネス化する。

以上

## 2021年度事業報告書

### はじめに

本会は、ライフル射撃界を統括し代表する団体として、国内における健全なライフル射撃競技の普及と振興に努め、国際的競技者の発掘及び育成を主眼とするとともに、1年延期となった東京オリンピック競技大会でのメダル獲得を目標として2021年度の事業を実施した。結果として、8位入賞を果たすことが出来、有望な若手選手の成長も見られた。また、東京2020大会の円滑な運営のため、平成29年度（2017年度）以来確保と養成に努めてきた当協会の技術役員約50名が東京2020大会の運営に従事した。

選手強化事業については、コロナ禍の中、東京2020オリンピック競技大会日本代表候補選手を対象にNTC射撃場を活用して選手強化事業を実施するとともに国際親善リモート大会及びパラリンピック日本代表及び候補選手との合同記録会を実施した。

ジュニア育成事業については、コロナ禍の影響により、海外派遣大会の中止及び育成強化合宿等、リモート大会開催以外の活動は全て実施できない状況であった。

指導員・審判員の養成及び資格認定については、研修をコロナ対策として集合形式だけでなくオンラインにて実施した。東京2020大会のためのテストイベント（Ready Steady Tokyo）の前に、ISSF技術委員会委員を講師に迎えて東京2020大会競技役員研修をオンラインにて行った。

スポーツ団体及び公益法人としての社会的責任を果たすべく、ガバナンスコードに基づいた2021年度における自己説明をホームページに公表した。また、総会において役員向けのコンプライアンス研修を実施し、正会員、理事監事、及び職員が受講した。

会務運営では、協会事業、活動についてはコロナ禍の影響を受け続け、前年度に比べて会員数、及び各種交付金等の事業収入は横ばいの状況となったが、事務局業務全体としては、事務の効率化と経費節減により適切な財務及び業務運営に努めた。新たに推薦業務を柱とした加盟団体を含めた業務のデジタル化を開始した。選手強化活動事業については、新しい生活様式での選手強化活動事業の助成を活用し、コロナ禍においても継続的な強化活動が出来る環境構築に取り組んだ。

銃器の法的規制の対応については、引き続き空気拳銃500人枠の拡大及び推薦事務のデジタル化、簡素化の働きかけを警察庁に行った。警察庁と協議を重ねて銃砲刀剣類所持等取締法施行令の改正を実現し、銃所持にかかわる推薦者を日本スポーツ協会に一本化した。これにより、被推薦者所属の加盟団体から協会へ直接推薦が申請されることになり、コンプライアンス強化を実現した。

以上こうした状況の中、統括競技団体としての組織運営を遂行できたことは、スポーツ射撃を愛し、ご理解を頂いている加盟団体のご協力と諸官庁、関係各位のご指導、ご支援の賜物であると感謝しつつ、本会の事業報告書を提出する。

いまだに主要競技会の延期、中止をはじめスポーツ活動が制限され経済にも大きな影響が生じている状況であるが、一日も早い感染症の収束を願うとともに、本会事業に対して皆様方のご協力を重ねてお願いいたします。

2022年5月20日

公益社団法人 日本ライフル射撃協会  
会長 松丸 喜一郎

## 2021年度事業実施状況 (定款第4条1項～6項関係)

### 1 ライフル射撃スポーツの普及及び指導

#### (総務委員会関係)

- ・協会の将来を見据えた「将来構想プロジェクト」を立ち上げ、2024年度までの中期計画立案に着手した。
- ・外部有識者を理事および委員として招聘し、マーケティング委員会及びコンプライアンス委員会を設置した。
- ・会務の効率を図るためのデジタル化を推進する組織として「モダナイズ部会」を設置し、2022年度より活動を開始することとした。
- ・新宿区に働きかけて、ふるさと新宿区わがまち応援寄附金制度を実現した。2022年度に寄附金額の7割を上限として新宿区から協会への支援金を受け取る予定。
- ・内部管理体制の整備に関する基本方針、寄付金取扱規程、及び資金運用規程を制定し、会計処理規程を改正した。
- ・コンプライアンス強化のための教育として、総会において新たに役員向けコンプライアンス研修を実施した。
- ・通報相談窓口の実績 通報相談は2件だった。
- ・倫理委員会開催実績 倫理案件がなく開催しなかった。
- ・推薦銃の使用状況を審査し競技者適格証明書を発行した。  
ライフル射撃競技者適格証明184
- ・協会公式サイトに各大会結果を公表した。
- ・オリパラミックスイベントのYouTubeでのLIVE放映とアーカイブによる試合の公開を行った。(2021年12月18日 NTC 他で開催し、リモート中継)
- ・公式サイトでの各団体事務局からの連絡事項の公開を行った。
- ・公式サイトでのメディア情報の一般公開を行った。(TV・ラジオなど)
- ・スポーツ振興くじ助成をうけ、広報誌「ライフルスポーツ」を6回発行した。うち2回は、協会の記録資料としてオリンピック及びパラリンピック特集とした。
- ・電子標的のある射撃場を保有する加盟団体の財政的負担を軽減するため、電子標的1台あたりの再公認料を税抜30,000円から税抜3,000円に減額した。令和4年4月1日再公認分より適用する。

#### (推薦委員会関係)

- ・デジタル技術の活用による、推薦を含む会員向けサービスのオンライン化として、「ニチラネット」を始動させ、加盟団体への導入に取り組んだ。
- ・警察庁と協議を重ねて施行令改正し、銃所持にかかわる推薦者を日本スポーツ協会に一本化した。これにより、被推薦者所属の加盟団体から協会へ直接推薦が申請されることになり、コンプライアンス強化を実現した。

#### (普及・生涯スポーツ委員会関係)

- ・ガバナンスコードの原則5に対応したインテグリティ教育について、1872名の選手をはじめ指導者についても引き続きインテグリティ教育を行った。
- ・日本アンチ・ドーピング機構と協力して、選手、コーチ向けにEラーニングを実施した。
- ・社会貢献事業として高齢者社会福祉施設における体験射撃会の実施について、コロナウイルス感染症収束局面ではあるものの高齢者施設への立ち入りはまだ困難と判断し、今年度事業化予算化をした高齢者施設における体験射撃会は中止とした。共生社会実現推進事業として12月8日のオリパラミックス大会、および3月21日のクウェート・日本国交樹立60周年記念オリパラミックス大会を実施した。

- ・2022年度事業計画にて実施予定であるジャパン・スポーツ・オリンピック・スクエアでの体験射撃会の企画を2021年度内に行った。第一回目は2022年6月26日（日）を予定し、詳細の準備は2022年度事業として実施する。
- ・加盟団体の行う普及事業への普及活動助成は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により本年度の募集を見送った。

## 2 ライフル射撃スポーツの日本選手権大会及びその他の競技会の開催

### (国体委員会関係)

- ・2021（令和3）年度実施予定の第76回国民体育大会（三重とこわか国体）は新型コロナウイルス感染症の急拡大に伴い中止となった。

### (競技運営委員会関係)

- ・日本新記録を公認した。
- ・リモートファイナル大会、分散競技大会、オリパラ合同試合を実施した。
- ・主催競技大会記録を管理・保存すると共に、公式ウェブサイトにて公表した。
- ・公認射撃場について以下の射撃場を公認した。
  - 栃木県ライフル射撃場
 

50m	電子標的に変更	再公認
10m	電子標的に変更	再公認
100m		再公認
  - 世田谷区立総合運動体育館
 

10m		再公認
-----	--	-----
  - 栃木県警察学校射撃場
 

25m		新規公認
-----	--	------
  - 三重県警察学校射撃場
 

25m		再公認
-----	--	-----
  - 宮城県ライフル射撃場
 

50m	電子標的追加	再公認
-----	--------	-----
- ・競技運営で必要となる音楽機器、計測機器、計6件を加盟団体へ貸し出した。
- ・競技用銃砲、ゲージ等の検定・公認を行った。
- ・電子標的の検定について以下の再検定を行い公認した。
  - 瀬戸谷屋内競技場
 

50m	射場
-----	----
  - 大分県庄内屋内競技場
 

50m	射場
-----	----
  - 富山県福光射撃場
 

10m・50m	射場
---------	----

## 3 ライフル射撃スポーツに関する競技力の向上を図ること

### (選手強化委員会関係)

- ・コロナ禍の中、東京2020オリンピック競技大会日本代表候補選手を対象にNTC射撃場を活用して選手強化事業を実施するとともに国際親善リモート大会及びパラリンピック日本代表及び候補選手との合同記録会を実施した。
- ・東京2020オリンピック日本代表選手選考会を開催し、選手選考要綱に基づき公正に選手を選考した。
- ・NTC射撃場の使用状況については、コロナ感染症対策を行い年間稼働率は92%であった。
- ・日本代表及び候補選手の専任コーチとして、ピストル種目はエミール・ドシャノフ（ブルガリア）、ライフル種目にゴラン・マキシモビッチ（セルビア）及びキム・ウーヨン（韓国）、ジュニア育成ピストル種目にエリック・エグリト（フランス）を登用した。
- ・JSC競技力向上事業助成金オリンピック選手等強化助成を受け、ナショナルチーム及びジュニア育成チームの国内合宿等の強化事業を実施した。
- ・東京2020テストイベント（朝霞）に日本代表及び候補選手を派遣した。
- ・東京2020オリンピック競技大会（朝霞）にはピストル種目4名、ライフル種目4名、の計8名の選手を派遣した。ラビットファイアピストル種目では、吉岡大（京都府警）が北京オリンピック以来13年ぶりの8位入賞を果たした。
- ・競技力向上に資するスポーツ医科学サポートについては、主にコロナ禍における感染拡大

予防を関係機関と実施した。

(ジュニア育成委員会関係)

- ・JSC 競技力向上事業助成金オリンピック選手等強化事業助成を受け、ナショナルチーム及びジュニア育成チームの国内合宿等の強化事業を実施した。
- ・ジュニア選手の発掘、育成を図る為ナショナルタレントハブの開設を計画したが、コロナ禍の影響で、緊急事態宣言ならびにまん延防止措置が発出されている地域での開催は中止休止を余儀なくされた。西日本対象のハブは12月より再開したが、他ブロックでの開催は断念することとなった。
- ・JSC から受託した「アスリートパスウェイの戦略的支援」事業として、地域 TID（都道府県スポーツ課やスポーツ協会が実施しているタレント発掘事業）で発掘されたタレントを競技団体に繋げるため、岐阜県・福岡県・佐賀県・長崎県と協働しモデル事業を開始した。
- ・東アジアユースエアガン大会はリモート大会としてシンガポール本部となり開催された。参加国は昨年同様に韓国、シンガポール、中国が参加し、4 か国で開催した。代表選手として10m 各種目 8 名の12選手が出場した。10m エアライフル女子種目団体は 3 位、個人で野畑美咲歩が 6 位入賞。10m エアピストル女子種目団体は 3 位、個人で東晴七が 7 位、小西怜奈が 8 位に入賞。10m エアピストル男子団体は 3 位、個人で、與田一水が 7 位、久保迅輝が 8 位入賞。

#### 4 ライフル射撃スポーツに関する指導員及び審判員の養成及び資格認定

(競技運営委員会関係)

- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技会に計4名のITO、44名のNTO、7名の医学スタッフを派遣した。
- ・段級審査を実施し、1065件（内生徒591件）の級位を授与した。1214件（内生徒646件）の段位を授与した。前年度コロナ禍で減少した大会数も回復し始めた為、昨年度と比較し約5割増の授与数となった。
- ・年間を通じて審判部会を開催し、新たに本部10名、地方37名の公認審判員を承認した。名誉審判員胸章を6名に贈呈した。
- ・審判講習会を2月に新型コロナ感染対策のため集合研修を避け YouTube 配信より参加しやすくするために ZOOM により実施した。競技運営ルールの周知徹底と、ルール理解度を測るためテストを実施し、理解度に差があることが把握でき、今後の講習会実施内容の参考となった。また後日 VIMEO による映像配信も行った。また同じく2月にジュリー講習会を ZOOM で実施した。
- ・大会役員の育成及び活動促進、派遣として、東京2020大会のテストイベント前に ISSF 技術委員を講師としてオンライン役員研修を全5回に渡って英語で実施した。
- ・民間スポーツ振興費等補助事業の補助を受け、カザフスタンで行われた ASC 主催のアジアエアガン選手権に尾崎和郎氏を派遣し、審判レベルの向上に努めた。
- ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた NTO（競技役員）養成のため、コロナ禍ではあったが、NTC イースト射撃場を会場とする競技会での実務トレーニングを必要最低人数に絞って行った。

(普及・生涯スポーツ委員会関係)

- ・NRAJ 認定 C 級コーチとして新規に31名を認定した（うち7名は JSPO 公認コーチ3専門科目を兼ねて受講）。オンラインにて6月（前年度後期）、12月（今年度前期）、2月（今年度後期）に実施。
- ・また、中高射撃部の顧問の先生を想定対象者とした NRAJ 認定 D 級コーチ資格を創設し、3月にオンラインにて講習会を実施し、7名を認定（2022年認定）した。
- ・日本スポーツ協会公認ライフル射撃コーチ3専門科目講習会(前期・後期)を NRAJ 認定コーチ講習会と兼ねてオンラインにて実施し、公認コーチ専門科目として8名を認定した。

- ・ライフル射撃に関する講習会を各都道府県で開催した。
- ・ミズノスポーツ振興財団の助成をうけ、全国高校指導者研修会を神奈川県横浜市（神奈川県産業振興センター、日本大学高等学校）で開催し、32名が参加した。

## 5 ライフル射撃スポーツの普及・発展に資するための補完事業として事業運営上必要な物品の販売

- ・年間を通じ公認標的の製作・販売を実施した。

## 6 その他目的を達成するために必要な事業

- ・国際射撃スポーツ連盟（ISSF）に引き続き加盟した。
- ・アジア射撃連盟（ASC）に引き続き加盟した。
- ・公益財団法人日本スポーツ協会に引き続き加盟した。
- ・公益財団法人日本オリンピック委員会に引き続き加盟した。
- ・公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構に引き続き加盟した。
- ・松丸喜一郎会長がアジア射撃連盟（ASC）の副会長を継続して務めた。
- ・藤井彌事務局長がISSFのライフル委員を、エミール・ドシャノフコーチがコーチアドバイザー委員を継続して務めた。
- ・銃砲刀剣類所持等取締法に定められる銃器の所持に関する推薦書を（公財）日本スポーツ協会の委託を受け発行した。

けん銃	11（更新 11、新規 0）
空気けん銃	280（更新 219、新規 61 [内低年者32]）
指導用空気けん銃	10
空気銃	94
ライフル銃	157（大口徑 26、小口径 131 [内低年者44]）
年少射撃資格	225（空気銃 208、空気けん銃 17）
技能講習免除	239

- ・定時総会を2021年6月19日に開催し、以下の内容を議決した。
  - 第1号議案 正会員の承認の件
  - 第2号議案 2020年度事業報告承認の件
  - 第3号議案 2020年度収支決算書承認の件
  - 第4号議案 理事専任の件
  - 第5号議案 定款一部変更の件
- ・理事会を以下の通り開催した。
  - 2021年5月29日 第1回理事会
  - 2021年6月19日 第1回臨時理事会
  - 2021年7月10日 第2回理事会
  - 2021年9月25日 第3回理事会
  - 2021年12月4日 第4回理事会
  - 2022年2月26日 第5回理事会
- ・当協会元会長の菊地陸名誉会員が令和3年秋の叙勲にて旭日小綬章を受賞された。（スポーツ振興功労）
- ・以下の方々の表彰を実施した。
  - <会長特別表彰>
    - 該当なし
  - <会長表彰>
    - 宮浦勤（福井県ライフル射撃協会）
  - <年間活動賞>
    - 該当なし

## 2021年度収支計算書総括表

2021年4月1日から2022年3月31日まで

単位 (円)

科 目	合 計	一般会計	選手強化事業	ジュニア育成事業	内部取引消去
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
財産運用収入	997	997			
会費・入金会収入	37,873,000	37,873,000			
事業収入	29,346,492	29,346,492			
補助金等収入	17,378,971	17,378,971			
寄付金収入	1,000,000	1,000,000			
スポンサー関係収入	10,338,400	10,338,400			
JOC 選手強化事業補助金収入	22,996,000		22,996,000		
選手強化事業寄付金収入	0		0		
競技会参加料収入	4,010,400		3,915,400	95,000	
JOC ジュニア育成事業補助金収入	20,756,000			20,756,000	
JSC アスリートパスウェイ事業委託金収入	15,000,000			15,000,000	
雑収入	144,912	144,912			
国際大会開催事業会計収入	0	0			
繰入金収入			6,844,603	716,301	△7,560,904
事業活動収入計 (A)	158,845,172	96,082,772	33,756,003	36,567,301	△7,560,904
2. 事業活動支出					
事業費	90,563,041	20,990,537	33,005,203	36,567,301	
国際大会開催事業費	2,911,636	2,911,636			
管理費	51,979,526	51,979,526			
繰入金支出		7,560,904			△7,560,904
事業活動支出計 (B)	145,454,203	83,442,603	33,005,203	36,567,301	△7,560,904
事業活動収支差額 (A) - (B)	13,390,969	12,640,169	750,800	0	0
II 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
2020東京オリパラ対策準備基金取崩収入	7,041,371	7,041,371			
2024パリオリパラ対策準備基金取崩収入	3,000,000	3,000,000			
2024選手強化積立基金取崩収入	10,000,000	10,000,000			
ライフル射撃振興基金取崩収入	0	0			
投資活動収入計 (C)	20,041,371	20,041,371	0	0	
2. 投資活動支出					
職員退職積立預金積立支出	3,041,970	3,041,970			
2024パリオリパラ対策準備基金積立支出	5,000,000	5,000,000			
2026選手強化積立基金支出 (仮案)	21,317,561	21,317,561			
ライフル射撃振興基金積立支出	446	446			
什器備品購入支出	1,304,763	553,963	750,800		
ソフトウェア購入支出	2,767,600	2,767,600			
投資活動支出計 (D)	33,432,340	32,681,540	750,800	0	
投資活動収支差額 (C) - (D)	△13,390,969	△12,640,169	△750,800	0	
当期収支差額	0	0	0	0	0
前期繰越収支差額	69,144,751	69,144,751	0	0	
次期繰越収支差額	69,144,751	69,144,751	0	0	0



## ライフルスポーツへの 記録掲載終了のお知らせ



いつもライフルスポーツをご購読頂きありがとうございます。

グレードG2以上の協会主催大会成績を掲載しておりました記録集は、2022年5月号をもって終了させて頂きました。

協会主催大会の成績は、日本ライフル射撃協会公式HPの大会情報にて掲載しておりますので、今後はそちらをご確認下さい。どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 日本全国へ販売設置を致します。

### ■Meyton(マイトン)電子標的システム



#### Meyton電子標的の特徴：

- ・赤外線バリヤを通過した位置を測定
- ・センターは常に一定
- ・測定精度は1/100mm
- ・ワークステーションによる一元管理
- ・1台から利用可能
- ・10m, 50m競技用(25mは別製品)
- ・測定用消耗品は不要

#### Meyton(マイトン)電子標的導入射撃場(順不同)：

新潟県立胎内ライフル射撃場(10m, 50m)、茨城県営ライフル射撃場(10m, 50m)、福井県立ライフル射撃場(10m, 50m)、神奈川県立伊勢原ライフル射撃場(10m, 50m)、くりはま花の国エアライフル場(10m)、宮城県ライフル射撃場(10m, 50m)、沖縄県ライフル射撃場(10m, 50m)、慶應義塾大学(50m)、中央大学(50m)、日本大学(10m, 50m)、明治大学(10m)、その他高校・大学多数導入 ※大阪府能勢町ライフル射撃場(10m, 50m): メンテナンスのみ(國友銃砲火薬店様導入)

有限会社 三和管財

〒277-0862 千葉県柏市篠籠田1316 TEL: 04-7143-6122 Fax: 04-7147-0745  
Meyton社製品 日本ディストリビューター / Noptel社製品 輸入代理店

# ビームライフルで射撃スポーツを始めましょう!

## BEAM·RIFLE SHOOTING SYSTEM

### ビーム・ライフルの特徴

- ビーム・ライフル/ピストルの光源はキセノン管発光で、人体には影響のない安全な光です。
- 標的装置の設置は水銀灯、白熱灯、蛍光灯などを使用する体育館や教室で利用できます。



ビームライフル ジュニア用 型式 MBR-203J

この銃は 3.0 k g と軽量で、全長も小中学生などに合わせた入門者向けのモデルです。  
バットプレートは体格に合わせて、前後に調整できます。  
専用バッテリー、サイトセット、ハードケースが付属します。



ビーム・ライフル 型式 MBR-201

この銃はチークピースの調整を容易にした、バランスー付の競技者向けのモデルです。

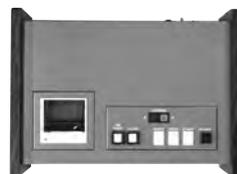
### ビームライフル・システム



ターゲット装置  
型式 MT-201



ディスプレイ装置  
型式 MD-201L



プリンター装置  
型式 MP-216

〔 製造・発売元 〕

—KOTO— 興東電子株式会社

本社 〒306-0232 茨城県古河市東牛谷 603-2

電話 0280-98-3387 FAX 0280-98-1180

<http://www.kohto.co.jp> E-mail: [info@kohto.co.jp](mailto:info@kohto.co.jp)

# 第1回銀座銃砲店通信大会

ご参加ありがとうございました!

懸賞総額 **100万円**

を入賞・当選された方にお配りしました!

参加者数：464人

延べ競技人数：569人

皆様のおかげでこれほどの規模の大会になりました!

本当にありがとうございました!!!!



大会結果はホームページにて公開中!! [【ginzagun.com】](http://ginzagun.com)

以下のSNSでも通信大会について投稿しております!



Facebook



Twitter



Instagram



LINE

株式会社  
銀座銃砲店

東京都中央区銀座6丁目  
13番7号(新保ビル2階)  
TEL:03-6226-6133  
mail:info@ginzagun.com

# 来たとき よりも キレイに!

世界に示す、クリーンジャパン

KEEP EVERYTHING  
MORE BEAUTIFUL  
THAN IT WAS.

Show the world, CLEAN JAPAN!



公益財団法人 日本オリンピック委員会  
Japanese Olympic Committee

10.9 FOCUSED.  
TARGETED.  
EXACTLY.

WALTHER

LG400  
MONOTEC



KK500  
PRECISION IN A NEW DIMENSION

POWERED PERFORMANCE.



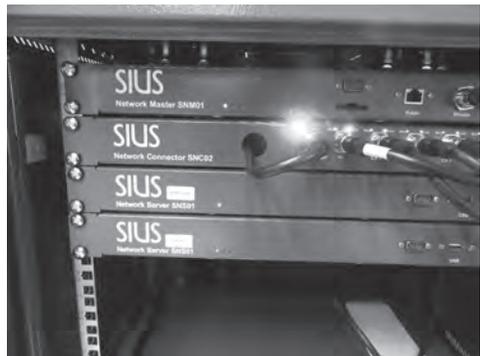
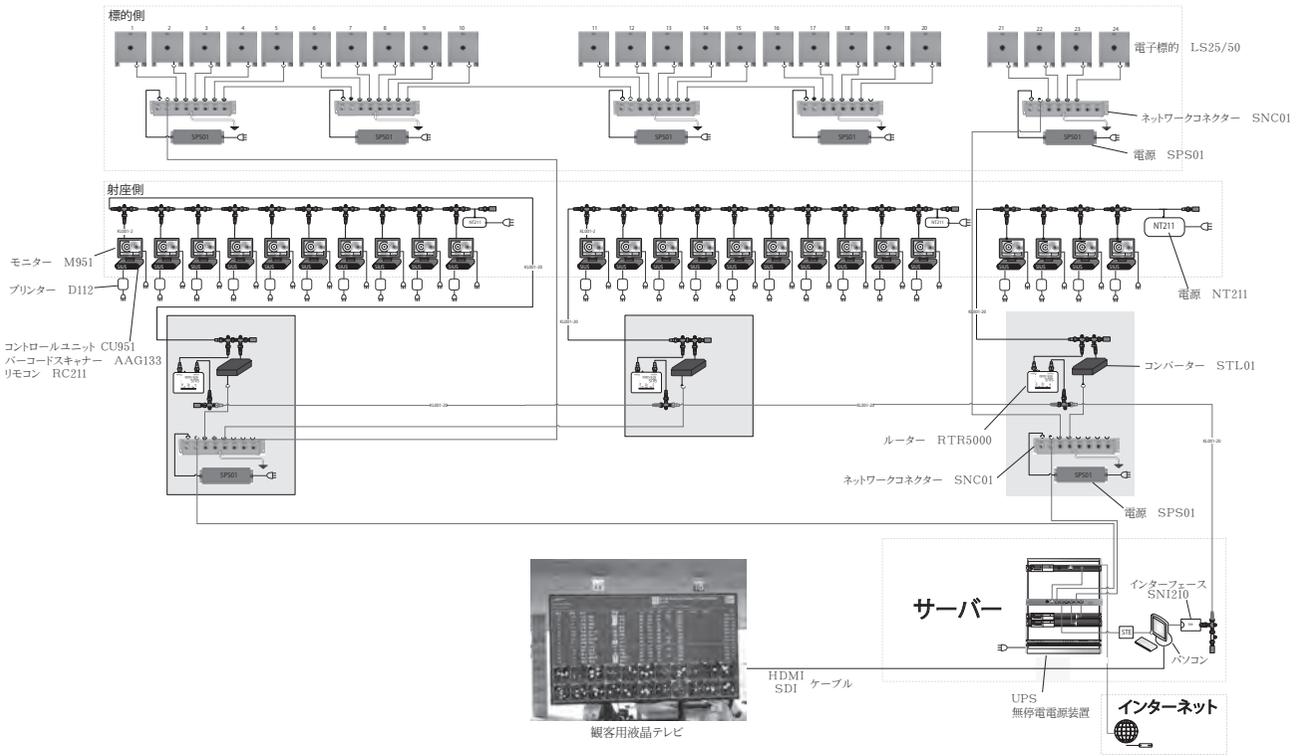
(公社)日本ライフル射撃協会オフィシャルサプライヤー  
株式会社 **國友銃砲火薬店**  
〒600-8032 京都市下京区寺町通仏光寺東入る 國友ビル 3F

ワルサー社・エレー社 日本代理店

TEL(075)351-3037 FAX (075)351-3041

<http://www.kunitomogs.co.jp> E-mail: [shooting@zj8.so-net.ne.jp](mailto:shooting@zj8.so-net.ne.jp)

# STYX ネットワークシステム



ISSF公認 (Phase III・最高評価の公認)

光学式電子標的・超音波式電子標的

SIUS 社 日本総代理店

日本ビーム株式会社

www.japanbeam.com



## ライフルスポーツ 購入申込方法

◆お申し込みは郵便振替または現金書留で下記の宛先までお願いします。

⇒郵便振替の場合

郵便振替 00140-0-707998 公益社団法人日本ライフル射撃協会

⇒現金書留の場合

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 公益社団法人日本ライフル射撃協会ライスポ担当

◆価格（送料込み）

⇒一部300円、年間1,800円 学生・生徒一部200円、年間1,200円

◆会員への配布

⇒会員については、会費に含まれていますので、自動配布となります。ただし、大学生及び中高生会員への配布は、当協会の規程によります。

⇒会員のご登録住所にお届けしております。ライフルスポーツがお手元に届かない場合は、所属加盟団体へ登録住所のご確認をお願い致します。

## 原稿募集します

□活動状況など

⇒各加盟団体や学校やクラブなど活動の様子を紹介します。

□エピソードなど

⇒射撃にまつわるおもしろいエピソードなど大歓迎します。



□協会に対する意見、質問など

⇒会員からの協会に対する直接の意見や質問をお寄せ下さい。なるべく建設的な意見を。

□投稿規定

⇒A-4に横書き（2段組み、各21文字）でお願いします。データも付けていただくとライスポ掲載に便利です。

※現在紙面の都合で掲載できずにお預かりしている原稿が多数あります。投稿される際は事前にご相談ください。

●発行人 ———— 松丸 喜一郎

●編集 ———— 総務委員会

●発行所 ———— 公益社団法人日本ライフル射撃協会  
(2019年7月より 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE  
新住所) 電話 03-6721-0792 / FAX 03-6721-0793  
E-mail: rifle@japan-sports.or.jp  
http://www.riflesports.jp/

●印刷所 ———— 広研印刷株式会社  
〒171-0033 東京都豊島区高田3-3-16  
電話 03-3208-8273 / FAX 03-3208-8244

本誌は、スポーツ振興くじ助成金を受けて発行しています。



# #ともに 越えよう

休んでたわけじゃない  
不安や孤独と戦いながら 高めていたんだ  
闘志を 自分自身を

私たちの 想いは 情熱は  
湧き立ち みなぎり 駆り立てる  
前へ 前へ 前へ

できる やれるよ 私たちなら想いをひとつに  
その先へ行く力 「ダイバーシティーコンセプト」

さあ スポーツが待ってる

REACH BEYOND





ライフルスポーツ THE RIFLE SPORTS 2022.4

第455号

令和四年七月一日発行 隔月(奇数月)一日発行  
昭和五十三年二月二十五日第三種郵便物認可

発行人・松丸喜一郎  
発行所・公益社団法人日本ライフル射撃協会

東京都新宿区霞ヶ丘町4-1-2

24時間365日、守り続ける。  
いつでもすぐに駆けつける。  
「安全・安心」に、  
住まいと家族を見守る一番強い存在に、  
私達はなりたい。

それがALSOKの  
変わらぬ想いです。



© 円谷プロ

## ホームセキュリティで幸せを



ALSOK レスリング部  
コーチ兼選手  
伊調 馨



24時間  
365日受付



0120-39-2413

サンキュー

ツヨイ

ミカタ

ALSOKは映画『シン・ウルトラマン』を  
応援しています。

定価 300 円